



平成 28 年 6 月 14 日

各 位

会社名 日本通運株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 健二
(コード番号 9062 東証第1部)
問合せ先責任者 取締役財務部長 林田 直也
(TEL 03-6251-1111)

(訂正・数値データ訂正)「平成 28 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、平成 28 年 5 月 10 日 13 時 00 分に発表しました表記開示資料について訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

1. 訂正の理由

「平成 28 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の発表後に連結キャッシュ・フロー計算書の当連結会計年度の数値に誤りが判明したため、訂正するものであります(訂正箇所には下線を付して表示しております)。なお、本件訂正による連結経営成績並びに連結財政状態への影響はありません。

2. 訂正の内容

【サマリー情報 「1. 平成 28 年 3 月期の連結業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)」
「(3) 連結キャッシュ・フローの状況」】

<訂正前>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28 年 3 月期	78,844	△122,881	<u>46,576</u>	<u>148,647</u>
27 年 3 月期	74,519	△22,386	△33,636	148,942

<訂正後>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28 年 3 月期	78,844	△122,881	<u>43,936</u>	<u>146,007</u>
27 年 3 月期	74,519	△22,386	△33,636	148,942

<訂正前>

(中略)

営業活動によるキャッシュ・フローは788億円の収入となり、前連結会計年度に比べ43億円収入が増加しました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益及び売上債権の増減額による収入が増加したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,228億円の支出となり、前連結会計年度に比べ1,004億円支出が増加しました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは465億円の収入となり、前連結会計年度に比べ802億円収入が増加しました。その主な要因は、長期借入れによる収入が増加したこと等によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末に比べ2億円減少し1,486億円となりました。

<訂正後>

(中略)

営業活動によるキャッシュ・フローは788億円の収入となり、前連結会計年度に比べ43億円収入が増加しました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益及び売上債権の増減額による収入が増加したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,228億円の支出となり、前連結会計年度に比べ1,004億円支出が増加しました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは439億円の収入となり、前連結会計年度に比べ775億円収入が増加しました。その主な要因は、長期借入れによる収入が増加したこと等によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末に比べ29億円減少し1,460億円となりました。

【添付資料 23 ページ 「5. 連結財務諸表」 「(4) 連結キャッシュ・フロー計算書」】

<訂正前>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月 31日)
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,179	2,103
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△6,000	—
長期借入れによる収入	49,131	112,759
長期借入金の返済による支出	△40,710	△72,810
社債の発行による収入	—	20,000
社債の償還による支出	△15,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△3,330
配当金の支払額	△10,258	△10,015
自己株式の取得による支出	△15,073	△374
その他	△906	△1,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,636	46,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,373	△2,835
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,869	△295
現金及び現金同等物の期首残高	125,900	148,942
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	172	—
現金及び現金同等物の期末残高	148,942	148,647

<訂正後>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月 31日)
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,179	△536
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△6,000	—
長期借入れによる収入	49,131	112,759
長期借入金の返済による支出	△40,710	△72,810
社債の発行による収入	—	20,000
社債の償還による支出	△15,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△3,330
配当金の支払額	△10,258	△10,015
自己株式の取得による支出	△15,073	△374
その他	△906	△1,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,636	43,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,373	△2,835
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,869	△2,935
現金及び現金同等物の期首残高	125,900	148,942
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	172	—
現金及び現金同等物の期末残高	148,942	146,007

以 上